

仙台高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	建築設計製図Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	0137		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 6		
開設学科	建築デザイン学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	6		
教科書/教材						
担当教員	小林 仁,飯藤 将之,坂口 大洋,小地沢 将之,相模 誓雄,祝 亜弥					
到達目標						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
建物と敷地の3D表現	的確に3D表現できる		最低限3D表現できる		3D表現したものが、他者から理解されない	
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	本科目は、(A)と(B)に内容が分かれている。(A)は前期週4時間＋後期週6時間。(B)は前期のみ週2時間。 (A) (B)では、Google Sketvh Up を用いて、建築の三次元(3D)モデルの作成を行う。					
授業の進め方・方法	(B)では、本校情報処理教育システムを用いて、実習中心で進める。 予習：特になし 復習：時間内に終わらない演習を残ってやること					
注意点						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	(B)ログイン、ソフトの起動、ログアウト		(B)システムとソフトウェアの起動・終了ができる。	
		2週	(B)3D⇔2Dのトレーニングをし、実際にSketchUpで描く。		(B)ペンコマンドを理解する。	
		3週	(B)3D⇔2Dのトレーニングをし、実際にSketchUpで描く。		(B)ペンコマンドを理解する。	
		4週	(B)マグカップの3Dモデルの作成。		(B)一通りのツールバーを理解した上で、分割、複写、回転の応用ができる。	
		5週	(B)マグカップの3Dモデルの作成。		(B)立体の変形技法を身に着ける。	
		6週	(B)レッド&ブルーチェアの3Dモデルの作成。		(B)メジャーを有効に使うことができる。	
		7週	(B)レッド&ブルーチェアの3Dモデルの作成。		(B)角度のある部材を描くことができる。	
		8週	(B)レッド&ブルーチェアの3Dモデルの作成。		(B)ペイントして総合的に仕上げることができる。	
	2ndQ	9週	(B)住吉の長屋の3Dモデルの作成。		(B)基礎から1階の寸法取りができる。	
		10週	(B)住吉の長屋の3Dモデルの作成。		(B)レイヤーの概念がわかる。	
		11週	(B)住吉の長屋の3Dモデルの作成。		(B)2階・屋上を表現できる。	
		12週	(B)住吉の長屋の3Dモデルの作成。		(B)ペイントして総合的に仕上げることができる。	
		13週	(B)名取キャンパスの3Dモデルの作成。		(B)基準となる高さで位置を把握できる。	
		14週	(B)名取キャンパスの3Dモデルの作成。		(B)高低差を表現できる。	
		15週	(B)名取キャンパスの3Dモデルの作成。		(B)建物を描くことができる。	
		16週	(B)名取キャンパスの3Dモデルの作成。		(B)ペイントして総合的に仕上げることができる。	
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				

		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	3	
			設計・製図	立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象などを用い)ができる。	4	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	美術・デザイン	建築における形態（ものの形）について説明できる。	6	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	50	0	50
専門的能力	0	0	0	0	50	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0